

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 17 年 12 月 22 日 (2005.12.22)

【公表番号】特表 2004-529228 (P2004-529228A)

【公表日】平成 16 年 9 月 24 日 (2004.9.24)

【年通号数】公開・登録公報 2004-037

【出願番号】特願 2002-570612 (P2002-570612)

【国際特許分類第 7 版】

C 0 8 G 18/38

A 6 1 K 7/00

A 6 1 K 7/025

A 6 1 K 7/04

A 6 1 K 7/11

A 6 1 K 7/48

C 0 8 G 18/50

【F I】

C 0 8 G 18/38 Z

A 6 1 K 7/00 J

A 6 1 K 7/025

A 6 1 K 7/04

A 6 1 K 7/11

A 6 1 K 7/48

C 0 8 G 18/50 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 1 月 13 日 (2005.1.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

本質的に以下から成る、弾性特性を有するアニオン性ポリウレタン

(a 1) スルホン酸及び / 又はホスホン酸官能基を有し、かつ置換活性な水素を有する少なくとも二つの反応性官能基を有する少なくとも一つのモノマー又はポリマー化合物から誘導するアニオン性単位、任意に

(a 2) 置換活性な水素を有する少なくとも二つの反応性官能基を有する少なくとも一つのノニオン性モノマー又はポリマー化合物から誘導するノニオン性単位、及び

(b) 少なくとも一つのジイソシアナートから誘導する単位、

ここで、単位 (a 1) 及び (a 2) の少なくとも一つの型を、示差走査熱量計で測定して 10 より低いガラス転移温度 (T_g) を有するポリマーから誘導し、かつ T_g が 10 より低いこれらの配列がポリウレタンの全質量の 20% ~ 90% 存在する。

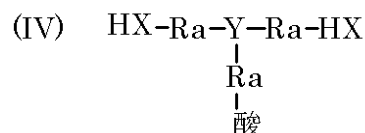
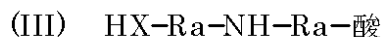
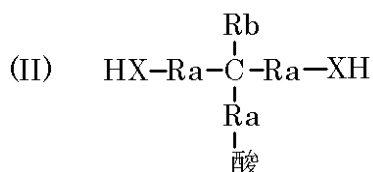
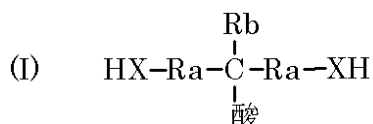
【請求項 2】

単位 (a 2) 及び / 又は (a 1) を形成する T_g が低いポリマーが、示差走査熱量計で測定して、0 より低いガラス転移温度を有することを特徴とする、請求項 1 に記載の弾性特性を有するアニオン性ポリウレタン。

【請求項 3】

アニオン性単位 (a 1) を以下の式の一つに対応する化合物から選択することを特徴と

する、請求項 1 又は 2 に記載の弾性特性を有するアニオン性ポリウレタン：



式中、

酸は、プロトン化又は塩形成した形態にあるスルホン酸又はホスホン酸基を表し、

それぞれの R a は独立に直接結合又は直鎖若しくは分岐した C₁₋₆ アルキレン基、C₃₋₆ シクロアルキレン基又はアリーレン基を表し、全ての R a について一又は複数のハロゲン原子で置換されていることができ、かつ O、P 及び S から選択する一又は複数のヘテロ原子を含むことができ、

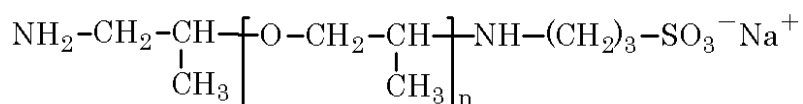
R b は、水素原子又は O、P 及び S から選択する一又は複数のヘテロ原子を含んでもよいアルキル基を表し、

Y は、O、P 及び S から選択する一又は複数のヘテロ原子を含んでもよい飽和、不飽和又は芳香族、環状の C₅₋₁₀ 基を表し、

それぞれの X は独立に酸素又は硫黄原子又は N H 若しくは N R c 基を表し、R c は C₁₋₆ アルキル基を表す。

【請求項 4】

アニオン性単位 (a 1) を以下の式のポリマーから誘導することを特徴とする、請求項 1 又は 2 のいずれかに記載の弾性特性を有するアニオン性ポリウレタン



式中、n は 2 ~ 100 である。

【請求項 5】

ノニオン性単位 (a 2) を、ネオペンチルグリコール、1,6-ヘキサンジオール、1,4-ブタンジオール及びアミノエタノールから選択するモノマー化合物から誘導することを特徴とする、先の請求項 1 ないし 4 のいずれか 1 項に記載の弾性特性を有するアニオン性ポリウレタン。

【請求項 6】

ノニオン性単位 (a 2) を、ポリエーテル、ポリエステル、ポリシロキサン、エチレンとブチレンのコポリマー、ポリカーボネート、ポリアルキル (メタ) アクリレート及びフッ素化ポリマーから選択するポリマーから誘導することを特徴とする、請求項 1 ないし 4 のいずれか 1 項に記載の弾性特性を有するアニオン性ポリウレタン。

【請求項 7】

単位 (b) を以下から選択するジイソシアナートから誘導することを特徴とする、先の請求項 1 ないし 6 のいずれか 1 項に記載の弾性特性を有するアニオン性ポリウレタン：メチレンジフェニルジイソシアナート、メチレンシクロヘキサンジイソシアナート、イソホロンジイソシアナート、トルエンジイソシアナート、ナフタレンジイソシアナート、ブタンジイソシアナート及びヘキシルジイソシアナート。

【請求項 8】

請求項 1 ないし 7 のいずれか 1 項に記載の弾性特性を有する少なくとも一つのアニオン性ポリウレタンを含む化粧組成物。

【請求項 9】

組成物がヘアラッカーであり、かつそれが請求項 1 ないし 7 のいずれか 1 項に記載のアニオン性ポリウレタンを 0.5 ~ 15 質量% 含むことを特徴とする、請求項 8 に記載の化粧組成物。

【請求項 10】

組成物がマニキュアであり、かつそれが請求項 1 ないし 7 のいずれか 1 項に記載のアニオン性ポリウレタンを 0.5 ~ 40 質量% 含むことを特徴とする、請求項 8 に記載の化粧組成物。

【請求項 11】

組成物が皮膚、唇及び表皮性の身体生長部位をメーキャップする組成物であり、かつそれが請求項 1 ないし 7 のいずれか 1 項に記載のアニオン性ポリウレタンを 0.5 ~ 20 質量% 含むことを特徴とする、請求項 8 に記載の化粧組成物。